

## 第9期仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 基本目標と施策の体系（案）

### 1 基本理念

本計画では、上位計画である「仙台市基本計画」に掲げる目指す都市の姿を踏まえ、高齢者を含めた地域全体の支え合いのもと、生涯にわたり一人ひとりが持つ多様性を尊重し、社会が大きく変容する中であっても、住み慣れた地域で持続的に生活できる社会の実現を目指し、次の基本理念を掲げます。

#### 【基本理念】

**共に支え合い、生涯自分らしく暮らし続けられる社会の実現**

### 2 基本目標

上記基本理念のもと、上位計画「仙台市基本計画」や「せんだい支え合いのまち推進プラン（仙台市地域保健福祉計画）」をはじめとした本市の関連計画、高齢者保健福祉施策を推進していく上での課題を踏まえ、次の基本目標を掲げます。

#### 【基本目標】

**高齢者が健康で生きがいを感じながら、心豊かに自分らしく活躍することができるとともに、地域で共に支え合い、将来にわたり誰もが安心して暮らし続けることができる社会を実現します**

### 3 施策の体系

基本目標の実現に向け、次の「3つの基本的な方針」のもと、「8つの施策」を設定し、取り組んでいきます。

**【方針1】 社会の変化に対応しながら、高齢者が健康で自分らしく活躍することができるような取り組みや環境づくりを進めます**

今後更に少子高齢化が進み、生産年齢人口の減少が進展する中、高齢者が支えられるだけでなく、生きがいを持って社会を支える担い手として活躍することができる環境づくりを推進する必要があります。

高齢者がいつまでも心身ともに健康でいきいきと暮らすことができるように介護・フレイル予防や健康づくりの取り組みにより健康寿命の延伸を図り、これまで培った知識・経験を生かして意欲的に社会で活躍し続けられる取り組みや環境づくりを進めます。

#### (施策1) 高齢者の健康と生きがいを支える取り組みや、地域づくりへの支援の充実

いつまでも心身ともに健康な生活を送れるよう、介護・フレイル予防に個々の実情に応じて気軽に取り組むことができる身近な通いの場等の充実や活動の支援に加えて、適度な運動や生活習慣病の対策などを踏まえた健康づくりを介護予防と保健事業の一体的な実施などにより推進していきます。

#### (施策2) 高齢者の意欲と経験に応じた活躍を後押しする取り組みや、環境づくりの推進

高齢者がいつまでも意欲を持ち、自らの望むかたちで社会で活躍し続けられるよう、多彩な学びの機会の提供や趣味活動、就労、ボランティア活動、地域活動等への支援、環境整備により、希望に応じた様々な方向からの社会参加の推進に取り組めます。

#### (施策3) 社会の変化へ柔軟に対応する取り組みの強化

更なる少子高齢化の進展はもとより、生活様式及び家族構成の変化などにより高齢者を取り巻く環境が変動していく中においても、高齢者が自分らしく暮らし続けられるよう、デジタル技術も活用しながら社会構造の変化に対応するための新たな取り組みを進めるとともに、既存事業のあり方についても検討を進めます。

**【方針 2】 地域で共に支え合い誰もが自分らしく暮らし続けることができるよう  
地域包括ケアシステムの体制を強化します**

高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯のさらなる増加が見込まれる中、自身の希望や状態に応じて、住み慣れた地域などで自分らしく安心して暮らし続けることができる環境を整えることが一層求められています。

地域の支え合いを深めるために、住民同士のつながりや、その地域で活動する団体などの資源を生かしながら、地域の特性や実情に応じた見守りや支え合いの体制づくりに引き続き取り組みます。

さらに、認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、新しい認知症観を広げ、相互に人格と個性を尊重した共生社会の実現を目指します。

**(施策 4) 地域における安心の確保や自立した暮らしの継続を可能とするきめ  
細かな支援の充実**

日常生活上の支援が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域などで安心して暮らし続けることができるよう、ニーズや世帯構成、価値観の変化に応じて、地域の力も活用しながら、必要な方が必要なサービスを受けられる体制づくりを強化するとともに、高齢者の尊厳を保持するため、虐待防止や成年後見制度の利用促進などの権利擁護の取組を進めます。また、高齢者が心身の状態やライフスタイルに応じて、適切なすまいとすまい方を選択できるよう、居住に関する支援に取り組みます。

**(施策 5) 地域の多様な主体が連携する支え合い体制づくりの取り組みの強化**

高齢者が住み慣れた地域などで安心して暮らし続けることができるよう、地域資源を幅広く強固に結びつける取り組みを推進し、地域包括支援センターによる支援の充実とともに、医療や介護などをはじめとする様々な専門職や関係機関などの連携強化を図る取り組みを進めます。また、地域の住民や活動団体などによる見守り・支え合い活動の充実に向けた支援を進め、支援が必要となった高齢者を重層的に支える取り組みを推進します。

**(施策 6) 認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らし続けること  
ができる共生社会づくりの推進**

市民一人ひとりが認知症への理解を深め、新しい認知症観を広げるとともに、認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らし続けることができるよう、活躍できる機会や場をつくる取組を推進するなど、認知症の人や家族の視点を重視しながら相互に支えあう共生社会の実現を図ります。

**【方針3】 将来にわたって必要な介護サービスが受けられるよう持続可能な体制を構築します**

高齢者人口が増加することに伴う介護サービス需要の増加に対して、地域の特性を踏まえつつ、将来にわたって必要な介護サービスが受けられるよう持続可能な体制を構築するとともに、多様な介護人材確保や、働きやすい環境づくり、介護現場の業務効率化を進めます。

**（施策7）中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備**

介護サービスの需要を中長期的に踏まえたうえで、高齢者が適切な介護サービスを受けることができるよう、サービス基盤の整備を進めます。とりわけ特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの入所系サービスについては、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの設置状況も念頭に置き、地域の実情も踏まえつつ、計画的な整備に努めます。

また、大規模災害や感染症の流行を踏まえ、避難訓練や感染拡大防止策の周知啓発、感染症対策に必要な物資の備蓄など、継続してサービスが提供できる体制づくりを支援します。

**（施策8）介護人材の安定的な確保・育成に向けた支援の充実と介護業務の効率化の推進**

今後、一層深刻化する人材不足に関する課題に対応し、将来にわたって介護人材が確保され、介護サービスが安定的に提供されるよう、働きやすい環境づくりや介護職の魅力発信、外国人人材をはじめとした多様な人材の確保を支援する取り組みを推進します。

また、介護職員が専門性を生かしながら、意欲をもって継続して働くことができるよう、職員のスキルアップ・キャリア形成や、業務の効率化による介護現場の生産性向上を図り、介護職員の負担軽減に向けた支援を進めます。